

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 2日

事業所名 放課後等デイサービス ビープラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテーションの配置を工夫して職員の間が広く空間分けをしています。	利用児童の特性を考えて、レイアウト変更など柔軟に対応します。
	2	職員の配置数は適切である	○		活動(調理実習・野外活動等)に応じて、人員を手厚くしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		十分とはいえないので今後の検討課題としております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		随時、支援計画に沿ってミーティングを行うとともに振り返りを行っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回のアンケート結果、日々の意見も踏まえて、職員間で話し合い、業務改善に努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPのお知らせ欄にて公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		社会情勢の関係で行っていません。、今度行う予定です。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達障害についての動画を使った研修などを行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との時間を設け、アセスメントを行い、ニーズや課題を抽出し、計画を制作しております。また、利用者への再確認もしております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で話し合い、情報を出し合いながら活動の立案、計画をしております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員全員で出し合いながら、新しいことを取り入れたり試したりしております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は宿題・茶会を中心としており、休日・長期休暇の午前中は個人に合わせた課題(学習時間等)を設けております。その他の活動で、楽しめるように設定しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、その時の子どもに合わせた支援を行っております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前もって職員間で打ち合わせをしたことを、前日・当日に支援の内容や役割分担について再確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日に職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有し、次回の支援につなげるように心がけています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		体温等や時間の記録、支援日誌は当日中に記録しております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		常時、職員間で成長や課題を話し合っており、サービス計画の見直しの必要性を判断しております。その内容を基に、定期的にモニタリングを行っております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		複数組み合わせ合わせて支援を行っております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者の他、指導員、責任者等、状況に合わせて出席するようにしております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校お迎えの際に先生と児童情報の交換や確認とプリントなどで学校行事や下校時刻の確認を行っております。また、必要に応じた個別対応の連絡もしております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアを必要とするお子様はいらっしゃいません。医療的ケアが必要となるお子さんが利用する場合、保護者と話し合いの後、ご希望に沿った連携体制を整えていく予定でございます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有を行う場を設け、利用児童の理解を深め、日頃の支援につなげております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、移行期を迎えたお子様はいらっしゃいません。個別支援計画やケア記録などの情報を蓄積し、移行の際など支援内容等の情報を提供する等を考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		基幹センターなど専門機関と連携し、相談や情報の共有を行って、助言や研修を受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		社会情勢の関係で、交流活動を行っておりません。以前は、地域の行事やこども食堂での活動で交流を行ってまいりました。今度、社会情勢に合わせて、機会を設けることが可能になれば、活動していく予定であります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	機会があれば参加を考えております。	社会情勢の関係で、地域の活動には参加しておりません。今度、社会情勢に合わせて、機会を設けることが可能になれば、地域の方との関りから活動していく予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの送迎時やケア記録を通して状況を伝え合い、必要に応じて連絡を取り合い、共通理解に努めております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後、機会を設けてトレーニングの機会を作っていきたいと考えております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約書や重要事項説明書の丁寧な説明を心掛ける他、質問など随時受付で返答しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様が話しやすい職員を相談相手に選出する、相談内容を職員間で考え回答する等を工夫し、支援しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在保護者どうし集まる機会は設けておりません。社会情勢等もありますが、保護者様の希望に沿った連携体制を整えるよう努めてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付の担当者を決め対応する他、重要事項説明書に事業所以外の苦情の相談窓口を記載しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		療育システムの保護者専用ページにて活動や行事予定を閲覧したり、定期的な会報でお知らせをしております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		適切に、管理しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通や情報伝達を行う為、状況・個人に合わせた配慮をが出来るよう努めております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、活動を広げていきたいと考えております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		現在マニュアルを見直して内容を今の事業所に合わせて再編成しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		児童と避難場所の確認や防災を考える行事など行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		外部の研修等を予定しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束の必要性があるお子様はいらっしゃいません。 身体拘束の必要性があるお子様が利用された場合、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載し、支援していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、食物アレルギーのあるお子様はいらっしゃいません。 今後、食物アレルギーの対応が必要となるお子様が利用された場合、医師との連携を計っていきたいと考えております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書の作成・回覧し共有する。また、日々のミーティングで情報の共有を行っております。	